

## Practice #3A

繰り返し文（文法の基礎1）

課題学習 3A1（必須）

課題学習 3A2（必須）

課題学習 3A3（必須）

課題学習 3A4（任意）

課題学習 3A5（任意）

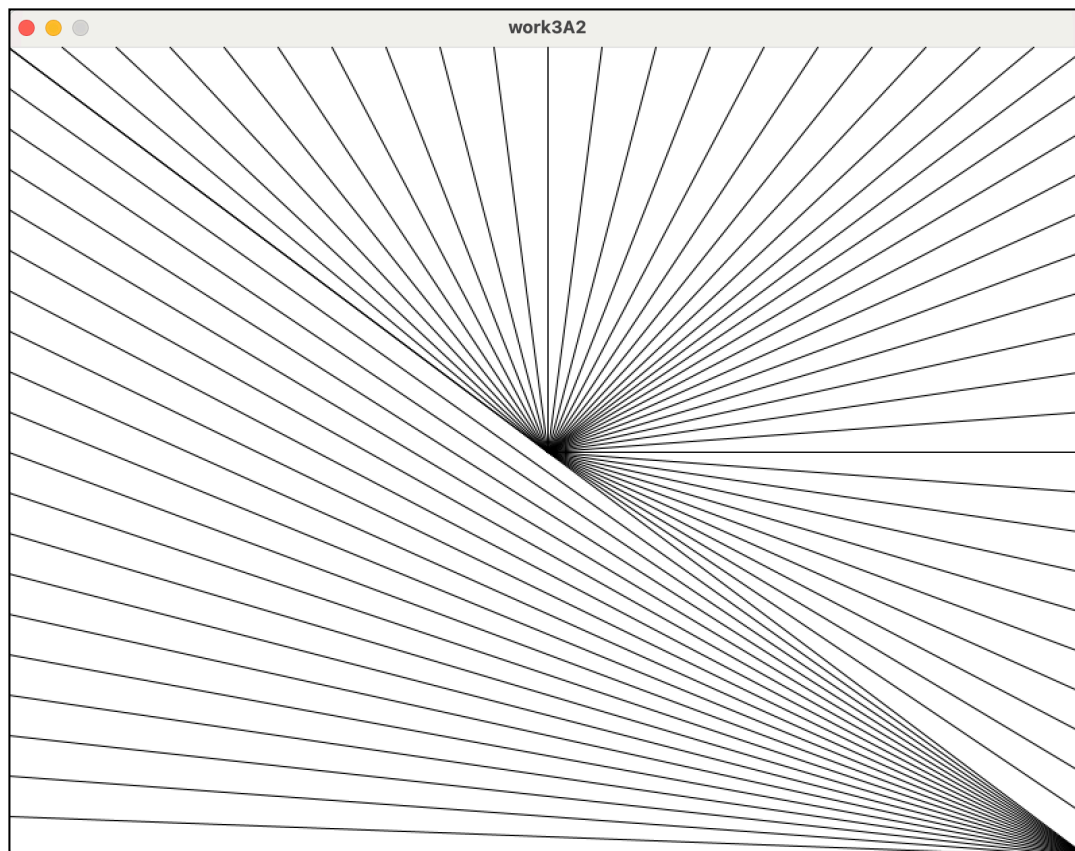
締め切り

05.23 [木]

# 課題3A1, 3A2 (必須)

work3A1.pde

FOR文を使って、500 x 500 のサイズのウィンドウの内部に自由に「繰り返しによる図像」を書いてください（フリードローイング）。単純なルールの繰り返しで、複雑な幾何学的イメージを作ることを念頭にしてください。ただし、条件文およびrand関数は用いないこと。



work3A2.pde

左のようなパターンを出力するプログラムを完成させてください。

左辺・上辺・半対角線上の各端点は、一辺を20等分する点とし、合計60本の線を引くようにしてください。ウィンドウのサイズは自由とします。

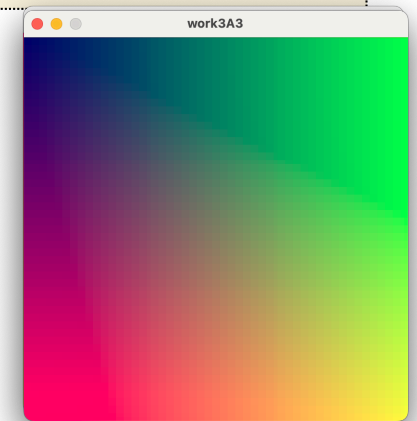
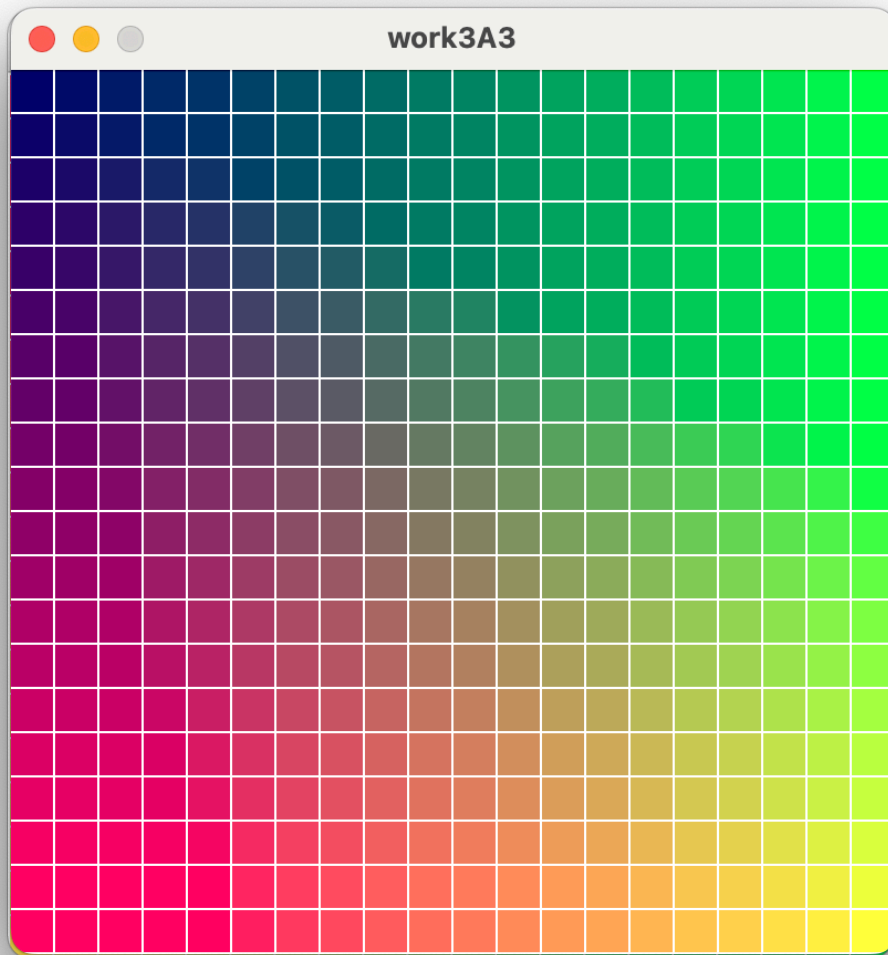
# 課題3A3 (必須)

work3A3.pde

繰り返し文を使って、左のような色見本を作ってください。

RGBのうちBlueが固定（100）で、Redの値が左に行くほど強くなり、Greenの値が下に降りるほど強くなるようにしてください。

サイズや分割の幅などは自由とします。  
（四角形の隙間をなくすと、グラデーションとなります →→）



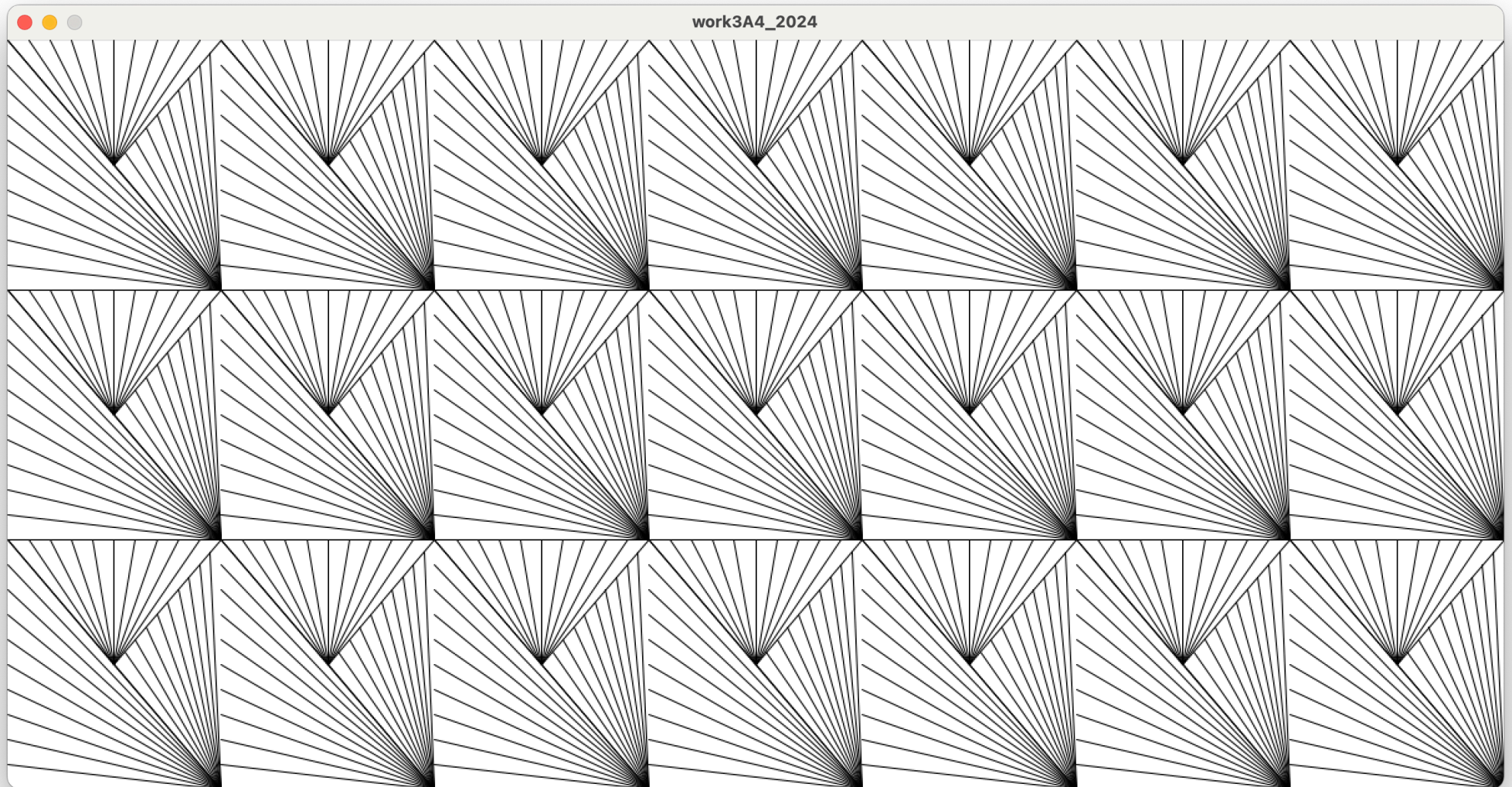
ヒント

for文の中にfor文を入れます（for文のネスト）。四角形の描画は `rect(x,y,w,h)` で実行する。この実行の前に、`fill(red,green,blue)` で色を決める。blueの値は固定とし、redとgreenの値を、四角形的位置に応じて、0から255を連続的に動くよう適切に決定する。

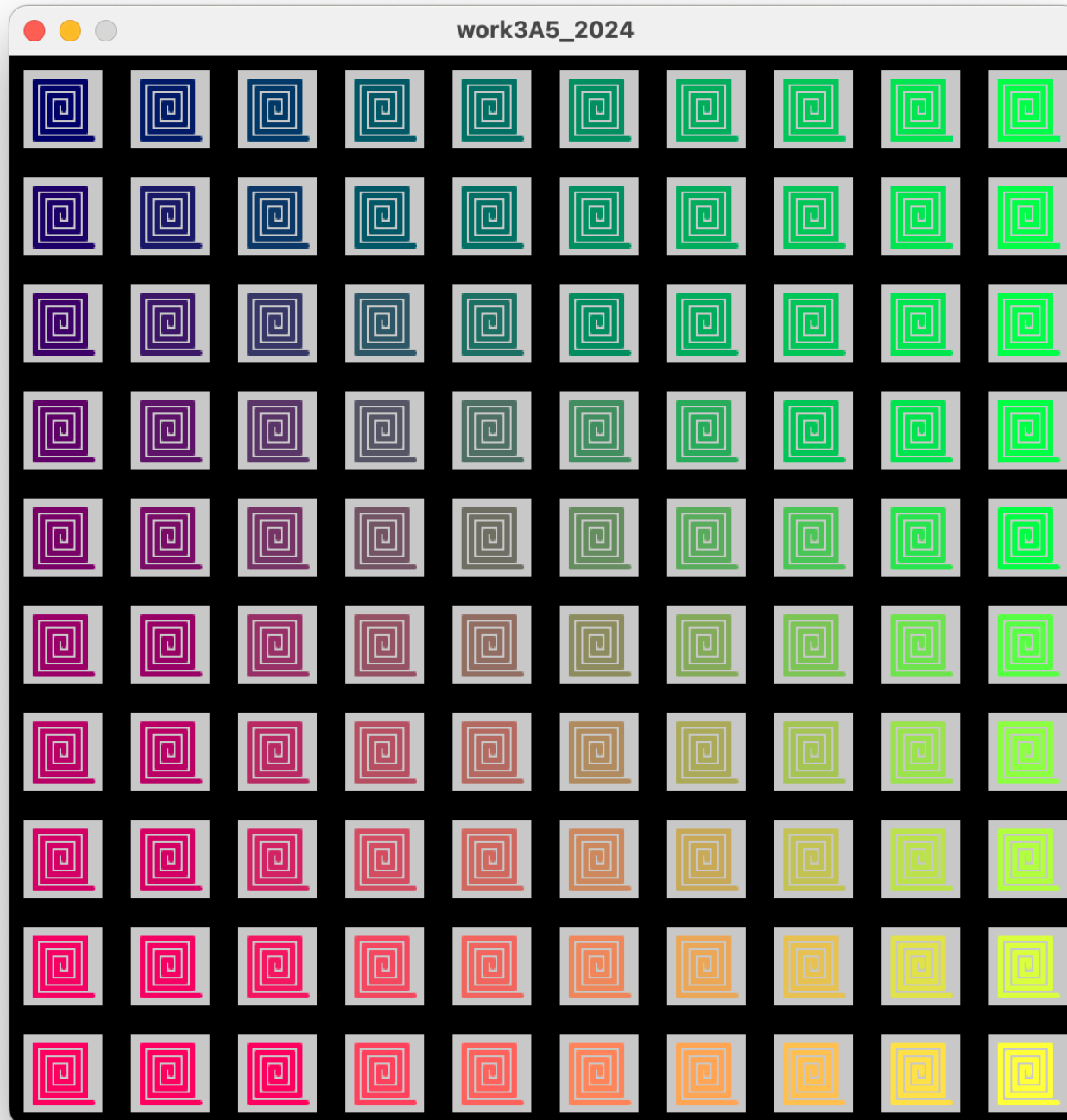
# 課題3A4 (やや難)

work3A4.pde

1200 x 600のウィンドウに、3A2のパターンが3 x 7で配列するようなプログラムを作成してください。各辺は10等分で線が引かれているものとしします。



# 課題3A5 (やや難)

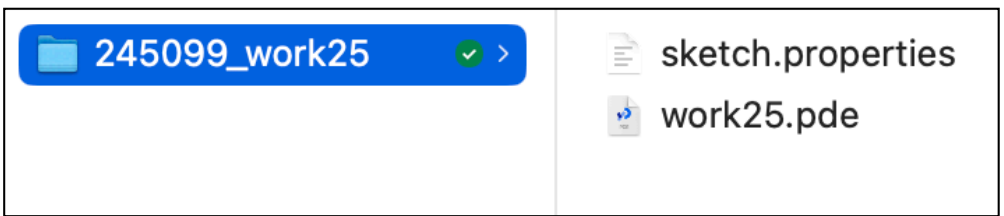
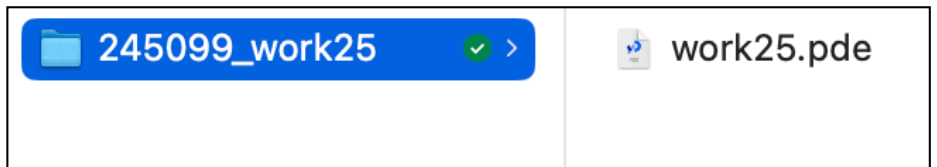
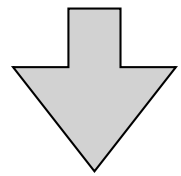
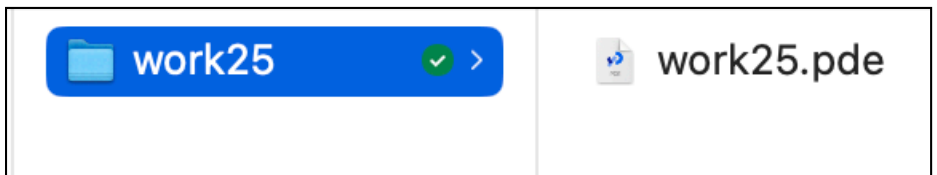


work3A5.pde

課題24の図像を  
グリッド状  
(10x10) に配置  
したプログラムを  
作成してください。  
線の色は、課  
題3A3と同じとし  
ます。

提出方法

フォルダ名のみを2450xx\_work3Anと変更します。(pdeファイルを開くと) 同じ階層に設定ファイルができますが気にしないで下さい。(下図は、work25のときの例です。)



対応する課題のリンクから、フォルダをまるごと提出してください。

<https://lab.kenrikodaka.com/univclass/mediabasic2024/>

課題学習	[課題PDF]
	[課題提出   WORK3A1]
	[課題提出   WORK3A2]
	[課題提出   WORK3A3]
	[課題提出   WORK3A4]
	[課題提出   WORK3A5]

## 提出方法

リクエスト時は、名前の先頭に学籍番号を入れるようにしてください。

kodaka kenri さんからのリクエストです  
WORK25

▶  245099\_work25

⊕ ファイルを追加

名前  メールアドレス



ファイルは kodaka kenri さんの Dropbox に安全にアップロードされます。 [ファイルリクエスト](#)と [Dropbox のプライバシー ポリシー](#) についての詳細をご覧ください。